地域産業と共創した、次代のものづくりを牽引する高度技術ひとづくり拠点
～確かな技術×デジタル×地域共創で、滋賀のものづくりの未来を創る～

アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援
滋賀県立彦根工業高等学校（全日制・定時制/工業学科）

滋賀県教育委員会事務局
高　校　教　育　課

この改革が必要な背景

・生産年齢人口の減少により、モノづくりで発展してきた本県の優位性が失われるおそれ。2040年には**AI・ロボット等の利活用を担う人材が6.4万人不足**、生産工程従事者も3.6万人不足の見込み

・製造現場では、従来の技能に加え、**デジタル技術で生産性向上や新たな価値創出を担う人材**が必要

▶ めざす姿： 確かな技術力とデジタル活用力を身に付け、地域や産業の課題に主体的に取り組み、新たな価値を生み出す次代のものづくり人材。本県工業教育の中核拠点として全体の高度化を牽引。

事業目的

地域産業界との連携ノウハウを有する彦根工業高等学校を、本県工業教育の中核的な拠点として再構築し、確かなものづくり技術にAI・IoT等の先端技術を融合した教育を推進する。地域や産業の課題に主体的に向き合い、次世代産業や循環型社会を支える高度な専門性と実践力を備えた人材を育成するとともに、本県工業教育全体の高度化を図る。

育てたい生徒像

確かな技術力とデジタル活用力を身に付け、地域や産業の課題に主体的に取り組み、新たな価値を生み出す次代のものづくり人材

事業概要

実現する学び（教育改革の内容）

① 学科再編（令和11年度～）

- ロボット工学科（新設）
- 機械工学科
- 電気工学科
- 情報工学科
- 建設工学科



全学科でAI・IoT・ロボティクス基礎を学習

② 実践的な学びの場

- 第1実習棟を「ロボット工学科実習棟」に改修し、「創る・動かす・考える」を循環させるロボット工学教育を実施。
- 地域（企業・農業・福祉・商業等）の課題解決に高校生が挑戦



③ 地域共創型の学び

「つくる力で地域を守る」を理念に、防災×ものづくりを核として、工業・農業・福祉・商業など多様な分野と連携した新たな学びを構築



④ 産学連携の強化

- 民間の経営実務経験を持つマイスター・ハイスクール人材が、産業界・企業・大学等との連携調整を主導。
- 企業等でものづくり経験者による助言・支援



整備する施設・設備

ロボット工学科 実習棟の施設改修	機械科実習棟の建替	先端工業技術設備・ 機器の導入	校内ICT通信基盤の 高度化	ものづくりラボの整備

マイスター・ハイスクール人材による連携コーディネート

高校生の未来の姿（指標の例）

・県内企業への就職内定者の割合　**90%**(R7) ⇒ **93%**(R10) ⇒ **96%**(R13)

・理工系大学（工学部等）への進学者の割合　**30%**(R7) ⇒ **33%**(R10) ⇒ **36%**(R13)

成果の県内普及・波及

A 先端技術講習の実施

高度設備を活用し、県内工業科教員・中学校教員のスキルアップを支援



B ものづくりアカデミー

ものづくりラボで小中学生向けに開講し、ものづくりへの興味・関心を醸成



C 高大連携・就業促進

高校生・大学生・企業等の協働活動を推進し、高大連携の強化と県内就業者増へ



D 地域共創型の学びの普及

工業・農業・福祉・商業等が連携した学びをモデル化し、県内専門高校へ展開



主な連携機関

滋賀県立大学、立命館大学 、龍谷大学 、滋賀大学 、長浜バイオ大学 、環びわ湖大学 ・ 地域コンソーシアム
滋賀県南部産業技術共創センター 、滋賀県北部産業技術共創センター 等



N-E.X.T.ハイスクール構想
彦根工業高校の教育改革



確かな技術 × デジタル × 地域共創で、滋賀のものづくりの未来を創る

STEP 1 ❶ どのような生徒を育てるのか
次代のものづくり人材の育成

- 確かな基礎技術
- AI・IoT・ロボティクスの活用力
- 課題解決力
- 協働する力
- 地域に貢献する実践力



STEP 2 ❷ そのために、どのような学びを実現するのか
学ぶ → 使う → 社会につなぐ

- 全学科でAI・IoT・ロボティクス基礎を学習
- 「創る・動かす・考える」を循環させるロボット工学教育
- 地域課題（製造業・農業・福祉・商業）に挑戦
- 「つくる力で地域を守る」防災×ものづくり
- 企業・大学・地域とともに学ぶ



STEP 3 ❸ 彦根工業高校がどう変わるのか
学科・カリキュラム・施設設備・連携を一体改革

【学科再編（令和11年度～）】

ロボット工学科（新設） / 機械工学科 / 電気工学科 / 情報工学科 / 建設工学科



【学びを支える環境整備】

- 第1実習棟 → ロボット工学科実習棟へ改修
- 機械科実習棟の建替
- 先端工業技術設備・機器の導入
- 校内ICT通信基盤の高度化
- 建設科実習棟1階に「ものづくりラボ」を整備

【連携の推進】

- 「マイスター・ハイスクール人材」が企業・大学等との連携をコーディネート



STEP 4 ❹ その成果を県内にどう広げるのか
彦根工業高校を「改革先導拠点」として県全体へ波及

- 県内工業科教員・中学校教員対象の先端技術講習
- 「ものづくりアカデミー」で小中学生の意欲を育成
- 工業高校生×大学生×地域企業の協働活動
- 工業・農業・福祉・商業などの「地域共創型の学び」を普及



彦根工業高校の改革 ➡ **成果の蓄積・モデル化** ➡ **滋賀県全体の工業教育・専門高校教育の高度化**

地域産業を支え、新たな価値を創り出す人材を県全体で育成

改革を支える基盤



施設・設備整備
安全で先進的な学びの環境を整え、実践力を高める



産学官連携
企業・大学・行政が連携し、実社会とつながる学びを実現



地域に開かれた学び
地域に信頼され、地域とともに未来を創る学校へ